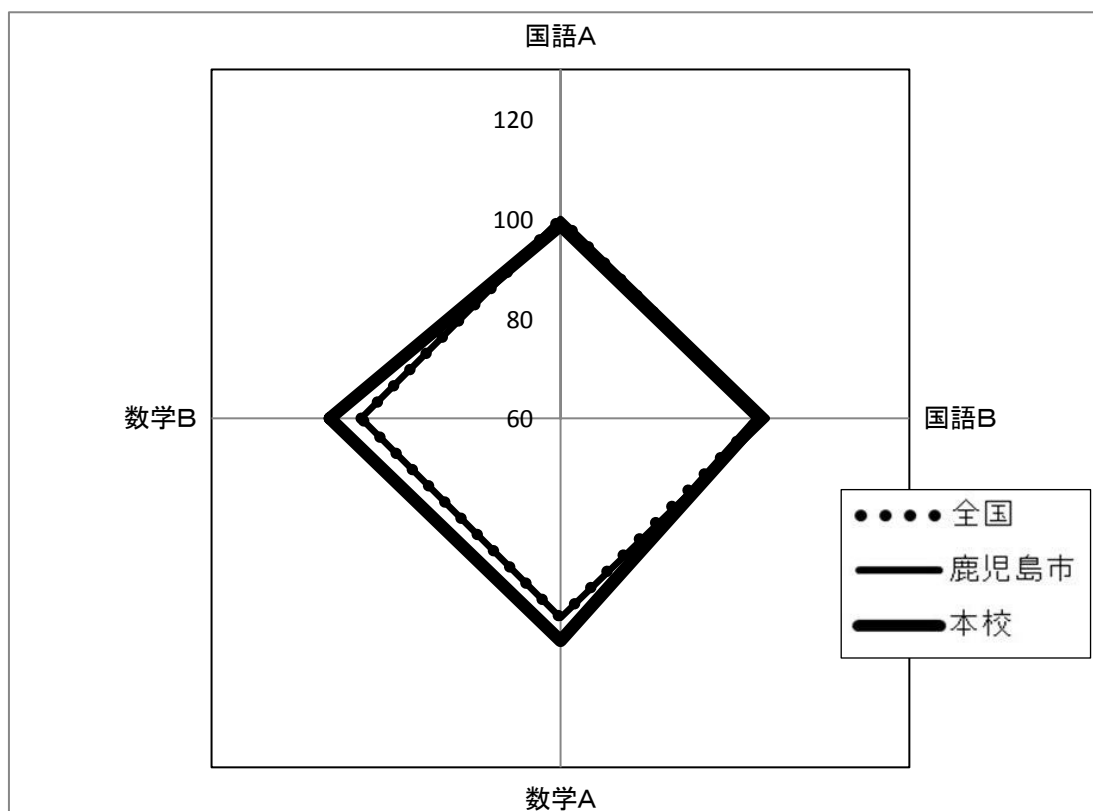


平成29年度全国学力・学習状況調査結果について

天保山中学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とするレーダーチャート 〉



2 自校の課題に対する改善策

国語

全体的には、全国・県・市の正答率と同等の結果となっています。「書くこと」に関しては正答率が高くなっています。一方、「読むこと」や「話すこと」に関しては定着が十分でない部分もあるため、授業においてもグループ活動などによる話し合いや発表の場面を多く設定し、表現する力を身に付けさせていきたいと思えます。

数学

全体的には、全国・県・市の正答率を上回る良い結果となっています。「かごしま学力向上プログラムにおける授業サポート」など、県の事業を活用した授業の充実も効果的であったと思えます。「資料の活用」に関してはまだ十分に力がついていない面もあるため、授業での活用場面を増やしていきたいと思えます。

全体的に

学校では、基礎的・基本的な学力を十分に定着させた上で、それを活用できる力を身に付けさせるために今後も授業の改善や指導方法の工夫に取り組んでまいります。学期末の学校評価のアンケートでは、90分以上の家庭学習が実践できていないと答えている生徒います。家庭でも、学習計画や学習時間の確保にご協力をお願いいたします。